

齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2022年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレス
トは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛
威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コ
ロナの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治癒後
でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワ
クチンの推奨](#)

最近のコメント

[<< 胃酸分泌抑制薬のザンタックの回収問題について | TOP | 副甲状腺機能亢進症と腎結石・骨粗鬆症
の関係 >>](#)

2019年10月11日

3剤配合剤吸入薬（ステロイド+LABA+LAMA）の有効性 喘息のコントロール不良に対して

3剤配合剤吸入薬（ステロイド+LABA+LAMA）の有効性 喘息のコントロール不良に対して

Single inhaler extrafine triple therapy
in uncontrolled asthma (TRIMARAN and TRIGGER)



コントロール不良の喘息に3剤配合の吸入薬が有効との論文が、雑誌LANCETに掲載されています。

3剤とは吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入β刺激剤、及び長時間作用性吸入β刺激剤です。大まかに喘息治療の主体は気管支の拡張です。そのため直接的な長時間作用性吸入β刺激剤のLABAと、間接的な長時間作用性吸入抗コリン剤のLAMAが有効です。

炎症を抑制する吸入ステロイド剤を加えた3剤のタッグは、更に強力です。

（下記のネット情報をご参照ください。）

現在日本では、テリルジーとビレーズリが上市されています。但し何れも日本での適応疾患は

[オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
[オミクロン株でクループ症候群は起きるのです。 その2](#) by (06/06)
[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
[4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)
[モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(223)
[循環器](#)(247)
[消化器・P P I](#)(147)
[感染症・衛生](#)(276)
[糖尿病](#)(128)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)
[インフルエンザ](#)(106)
[肝臓・肝炎](#)(62)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)
[ワクチン](#)(73)
[癌関係](#)(11)
[脂質異常](#)(28)
[甲状腺・副甲状腺](#)(19)
[婦人科](#)(10)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(23)
[その他](#)(80)

過去ログ

COPDで、喘息は適応外となっています。

LANCETの論文を纏めると

- 1) コントロール不良の喘息には、ステロイド (BDP) + LABAに更にLAMAを追加する事が推奨されています。本論文の主旨は、ステロイド+LABAがLAMAを追加する事によりどの程度効果が增加するかと、もう一つはステロイド+LABAにLAMAを追加するよりも、最初から3剤を合剤として吸入した方が患者にとって有効性 (アドヘアランス) が増加するとの推定で、2つの研究 (study) のTRIMARANとTRIGGERを纏めて掲載しています。
- 2) ・TRIMARAN 研究は、中等度のステロイド (BDPを100 μ) を用いています。2剤合剤と3剤合剤の比較試験です。尚LAMAはグリコピロニウムを使用しています。
・TRIGGER研究は高用量のBDP (200 μ) を用います。2剤合剤群と3剤合剤群 (LAMAはグリコピロニウム) と、2剤合剤にLAMAのスピリーバを追加吸入する群の3群の比較試験です。
- 3) 対象者は18~75歳で研究の1年前に少なくとも1回以上の急性増悪があった人です。(入院もしくはステロイド服用、または点滴) 期間は2016~2018年間、26週間の経過観察です。
- 4) 結果は2剤合剤と比較して3剤合剤の中等度以上の急性増悪の軽減率は、TRIMARAN では15%でTRIGGERでは12%でした。(TRIGGERの方が高用量のステロイドのため差は縮小します。) 重症の急性増悪に絞りますと、軽減率は23%でした。何れも3剤合剤が有効であることを証明しています。但し十分な患者選択が出来ないとの研究の制限から、LAMAの合剤か追加かの差は十分には認められなかったようです。詳細は下記のPDFのグラフをご参照ください。

[2022年07月](#)(10)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
[2021年02月](#)(19)
[2021年01月](#)(16)
[2020年12月](#)(17)
[2020年11月](#)(15)
[2020年10月](#)(17)
[2020年09月](#)(19)
[2020年08月](#)(14)
[2020年07月](#)(17)
[2020年06月](#)(14)
[2020年05月](#)(21)
[2020年04月](#)(18)
[2020年03月](#)(18)
[2020年02月](#)(18)
[2020年01月](#)(19)
[2019年12月](#)(14)
[2019年11月](#)(15)
[2019年10月](#)(18)
[2019年09月](#)(18)
[2019年08月](#)(14)
[2019年07月](#)(14)
[2019年06月](#)(16)
[2019年05月](#)(14)
[2019年04月](#)(18)
[2019年03月](#)(19)
[2019年02月](#)(19)

私見)

以前の私のブログをご参照ください。 (LAMAで検索)

注意して頂きたいのは、日本では3剤合剤の適応はCOPDだけです。

私のように何も直ぐに勘違いする方は、それいけとばかりに突っ走らないでください。

それにしましても、ACOSとはなんと良い響きなのでしょうかね！

[1 Efficacy and safety of dupilumab in patients with severe chronic rhinosinusi.pdf](#)

[2 本論文より.pdf](#)

[3.pdf](#)

[4ビレーズトリ \(LAMA LABA ICS\) の作用機序：テリルジーとの違い【COPD】 - 新薬情報オンライン.pdf](#)

[5 ビレーズトリ.pdf](#)

[6 テリルジー.pdf](#)

0

0

いいね！

[2019年01月](#) (15)

[2018年12月](#) (16)

[2018年11月](#) (20)

[2018年10月](#) (20)

[2018年09月](#) (18)

[2018年08月](#) (24)

[2018年07月](#) (18)

[2018年06月](#) (18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

ツイート

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[雷雨は喘息発作を誘発する](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[潜在性結核感染症](#)

[急性細気管支炎](#)

posted by 斎賀一 at 19:26 | [Comment\(1\)](#) | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

この記事へのコメント

明日はどうなるのでしょうか...

私から頼んで、遅い時間の方を繰り上げてもらうようにしましたが、それにしても18時過ぎにはなるかと...(-_-;)

連絡がつかない方もいて、その時間までは待たないとなので、向こうから電話が来るといいのですが、無断で来ないパターンもあるので、それが一番厳しいですね...(>_<)

はたして、うちに無事に帰れるのか？

強風で飛ばされて、先生のとこ辺りにひっかかっているかもしれません...(>д<);;'..

Posted by at 2019年10月11日 23:53

